

# 官報號外

明治二十九年二月十六日

日曜日 内閣官報局

○第九回 帝國議會 貴族院議事速記録第二十一號  
明治二十九年二月十五日(土曜日)午前十時五十八分開議  
議事日程 第二十一號 明治二十九年二月十五日

午前十時開議

○下サルヤウニ願ヒマス  
○富田鐵之助君 私一人ゴザイマス  
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 船舶検査法案、政府提出、第一讀會ノ續ヲ開キ  
マス、特別委員長報告

第一 船舶検査法案(政府提出)	第一 読會ノ續(特別委員長報告)
第二 船舶職員法案(政府提出)	第一 読會ノ續(特別委員長報告)
第三 船舶職員懲戒法案(政府提出)	第一 読會ノ續(特別委員長報告)
第四 復祿及復族祿ノ請願	第一 読會ノ續(特別委員長報告)
第五 電信線架設ノ請願	第一 読會ノ續(特別委員長報告)
第六 萬國博覽會開設ノ請願	第一 読會ノ續(特別委員長報告)
第七 古社寺保存ノ請願	第一 読會ノ續(特別委員長報告)
第八 信用組合法制定ノ請願	第一 読會ノ續(特別委員長報告)
第九 信濃川改修ノ請願	第一 読會ノ續(特別委員長報告)
第十 畜産保護獎勵ノ請願	第一 読會ノ續(特別委員長報告)
第十一 三島町ヨリ下田町ニ至ル道路國道ニ編入ノ請願	第一 読會ノ續(特別委員長報告)
第十二 阿武隈川阿賀川治水ノ請願	第一 読會ノ續(特別委員長報告)
第十三 羽越鐵道線繩上ノ請願	第一 読會ノ續(特別委員長報告)
第十四 日光山社殿修繕ノ請願	第一 読會ノ續(特別委員長報告)

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 昨十四日本院ニ於テ修正議決ニナリマシタル政府提出獸疫豫防法案ハ即日衆議院ニ送付致シマシテゴザイマス、同日本院ニ於テ可決ニナリマシタル帝國圖書館ヲ設立スルノ建議書、本邦速記術創始者田鎖綱紀ニ年金ヲ賜フベキ建議書ハ即日政府ニ提出致シマシテゴザイマス、同日本院ニ於テ可決ニナリマシタル復祿及復族ノ請願外十一件ノ請願ハ即日意見書ヲ附シテ政府ニ送付致シマシテゴザイマス、市制中東京市京都市大阪市ニ設ケタル特例廢止法律案外一件特別委員會ニ於キマシテ委員長ニ安場保和君、副委員長ニ柴原和君、北海道鐵道敷設法案特別委員會ニ於キマシテ委員長ニ公爵近衛篤齋君、副委員長ニ子爵曾我祐準君當選ニナリマシテゴザイマス、是ヨリ會議ニ移リマス  
○富田鐵之助君 唯今ヨリ償金特別會計法案ノ委員會ヲ開キタウゴザイマスルカラ退席ノ御許シヲ…  
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 暫ク、唯今定足數ヲ調べマスカラ…暫ク御待

施スト云フコトニナリマシタラバ大ニ困難ヲ來スコトガアリマスケレドモ、ソレ等ノ事ハ即チ此検査法ノ十五條竝ニ船舶職員法ノ十三條十四條等ニ於テ便法ガ設ケテアリマス、ソレ故ニ渢シテ急激ナル變革ト申ス譯ハナカラウト考ヘマス、ソレカラ固ヨリ是マデヨリハ検査ヲ致ス船ノ數モ多クナリマスル次第アリマスルシ、又此事ニ牽連致シマシテ懲戒法、懲戒法ニ依ツテ三人列席ノ地方審判所ノ設ケ竝ニ此抗告即チ覆審、覆審致ス高等海員審判所ヲ設ケテ五人ノ審判官ガ列席ノ上審判ヲ致スト云フヤウナ制度ニナリマシタカラシテ、ドウシテモ司檢官ノ人員ヲ殖ヤサナケレバナラズ、又司檢所ノ數ヲ、幾ヲカ殖ヤサナケレバナラナイケレドモガ是ハ已ムヲ得ザルコトデアリマシテ、其費用ト申スモノハ一讀會ノ初メニ政府委員カラ御答ガアリマシタ通唯今マデガ四万六千圓許リノモノヲ其上ニ四万一千圓許リ殖ヤス、今ノ八分幾ラト云フ割ヲ殖ヤスト云フコトデアリマス、ソレデ先づ検査ノ事モ竝ニ審判ノ事モ出來得ルト云フ目算ガ附イテ居ルト云フコトデアルソウデゴザイマス、尤モ是ハ此年度カラデハナク翌年度カラ斯ノ如キ増加ニナル次第、成程國庫ノ費用ガ幾ラカ増スニハ相違ゴザイマセヌケレドモ、貴重ナル生命財產ヲ保護シ竝ニ海員乗組人ノ權利ヲ伸張セシムル是等ノ事ニ對シテ僅カ四万圓位ノ増加ハ僅々タルコトデアラウト考ヘマス、ソレカラモウ一ツハ現行法アツテ原案ニハ則チ航行期間ノ事ハ法律ニハ載シテ居ラナイ、是ハ施行細則デナハ即チ此航行期間、検査ノ期間ニアリマス、航行期間ト云フモノハ六箇月間ト十二箇月間ト云フ限ニナツテ居リマシタガ、是ハ西洋形船ト日本形船ト汽船ト帆船トヲ問ハズ餘り窮屈ナ極メ方デドウモ是デハイケナイト云フコトデアリマシタケレドモ、併ナガラ現行法ノ六箇月十二箇月ト云フノハ一寸申スト云フト約子定規ノヤウニ窮屈ニ極メルト云フノハ宜クナイト云フ、大體ノ方針ニ至ツテハ政府ノ原案ト主意ヲ異ニスル所ハナイノデアリマス、ソレカラ現行法デハ検査官ガ検査ヲ致シマスルト如何ニ不服ガアリマシテモ之ヲ訴ヘル道ガアリマセヌノデアリマシタガ此度ハ更ニ検査官ガ不當ト考ヘマスルト其不當ナリトスル所ヲ以テ訴フル途ガ……訴ヘルト申シテ訴訟デハアリマセヌケレドモ上申スル所ノ途ガ開イテアリマス、モウ一ツハ是マデハ外國船ト申スモノハ検査ヲスルト云フ規定ガ無カツタノデアリマスガソレハ甚ダ不都合デ、縱令外國ノ船デアラウトモ我邦ノ人ガソレヲ傭入レマシテ我邦ノ航行ノ用ニ供スル以上ハ我邦ノ船舶ト同様ニ検査スルト云フコトニシナケレバ生命財產ヲ保護スルト云フ目的ヲ達スルコトガ出來マセヌ、依ツテ此原案ニハ其ヤウニ現行法ヲ修正シテゴザイマス、先づ船舶検査法ニ附キマシテハ右申述べマシタ通大體ニ附キマシテハ委員會ニ於テハ略々原案ニ同意ヲ表シタ次第デアリマスル、ソレ故ニ修正ヲ致シタコトハ詰リ枝葉ト申スコトデモゴザイマセヌ稍々重大ナ點モゴザイマスルガサウ骨子ヲ變ヘルト云フコトハ致サ

ナカツタノニアリマス、是ヨリ致シテ委員會ニ於テ修正ヲ加ヘマシタ所ヲ  
通り申述べマス、第二條ニ原案ニハ「此ノ法律ニ依リ検査ヲ受クヘキ船舶ハ  
左ノ四種トス」ト斯ウアリマシテ「一、遠洋航船、二、近海航船、三、沿海  
航船、四、平水航船」トアリマシテ、凡ソ汽船デモ帆船デモ如何ナル種類ノ  
船デモ此四ツノ區別ガアルヤウニナツテ居ツタ、所ガ是ハ委員會ニ於テ段々  
政府委員トモ協議ノ末幾ラカ原案ヲ變更致スコトニナツタト申スノハ汽船デ  
アリマスナラバ遠洋航船近海航船平水航船トスウ別ケテ置キマシテ  
固ヨリ不都合ハナイノデアリマスガ、帆船ニナリマスト御承知ノ通西洋形モ  
有リマスルガ日本形ノ船杯ニ至リマスルト沿海航船ト云フヤウナル狄イ區域  
ニ限ラレテ仕舞ツテ其區域ノ中即チ航路定限、狄イ航路定限ノ外ヘ出レバ忽  
チ罰金ヲ取ラレルト云フヤウデハ餘リ困ル、エライ窮屈ナ事ニナリマス、ソ  
コデ汽船ノ方ハ此一二三四ト原案ニゴザイマシタ此種類ノ航船デ宜シイガ帆  
船ニ於キマシテハ此沿海航船ト云フモノハ廢メテ仕舞フガ宜シイ、ソレカラ  
平水航船ト申スノハ是ハ原案ニモ無イノデス、固ヨリ第一條デソレハ分リマ  
スガ、第一條ノ三ト申ス所ニ「湖川其ノ他靜穩ノ海上ヲ航行スル帆船」ト云  
フコトガゴザリマス、是ガ即チ平水航船ノコトデアリマスカラ是ハ検査ヲ受  
クルニ及バヌ即チ検査ヲ要セヌモノト云フコトニナツテ居リマス、ソレデア  
リマスカラシテ帆船ニ附イテハ原案ニ致シタ所ガ平水航船ト云フ問題ハマル  
デ無カツタ、問題外ニアリマシタ、唯委員ノ變ヘマシタノハ原案ニハ帆船  
デモ沿海航船ト云フモノガ遞信省令デ極ツテ居リマシテ、今度モ右ノ  
通極メルカ極メナイカ分リマセヌガ先ツ現行法ノ如ク極マルトスレバ一例ヲ  
航船ト近海航船ト此二ツニ極メテ仕舞ツタノデアリマス、ソコデ此沿海航船  
舉ゲテ見マスレバ安房國野島崎ヨリ伊豆國大島及神子元島ヲ經テ遠江國御前  
ト云フモノハ如何ナルモノデアルカト云フ御疑モアリマセウガ是ハ現行ノ西  
洋形船舶検査細則ト云フモノガ遞信省令デ極ツテ居リマシテ、今度モ右ノ  
崎ニ至ルト云フ此港カラ此港マデト云フ筋ヲ引張ッテアリマス、ソレガ即チ  
通極メルカ極メナイカ分リマセヌガ凡ソ先ツ此日本ノ國ノ周リヲダルく  
舉ゲテ見マスレバ神戸カラ馬關マデ行クコトハ宜イ併シ馬關カラ外ヘ出テ玄海洋  
レル、ドウモ日本形船ニ於テモサウニ云フコトデハ甚ダ宜クナ、ソコデ日本形  
船デモ西洋形船デモ帆船ハ總テ近海航船……モツト廣イ近海航船ト云フコ  
トハ此度ハドウ極マルカ知レマセヌガ凡ソ先ツ此日本ノ國ノ周リヲダルく  
譬ヘテ見レバ神戸カラ馬關マデ行クコトハ宜イ併シ馬關カラ外ヘ出テ玄海洋  
ハナイカ、矢張區域ヲ制限シタ方ガ宜イト云フ論ガアルカモ知レマセヌガ、  
ドコマデモ委員ノ考デハ原則ハ帆船ト云フ御疑モ起ルカモ知レマセヌ甚ダヤニッコイ脆  
サウナリマスト云フトスウ云フ御疑モ起ルカモ知レマセヌ甚ダヤニッコイ脆  
イ帆船ニ對シテ日本中タルく迴テモ宜イト云フコトニシテハ甚ダ危険デ  
乗ツテ歩クモノト云フヤウナ意味ニナリマス、帆船ハソレニシタラ宜カラウ、  
サウナリマスト云フトスウ云フ御疑モ起ルカモ知レマセヌ甚ダヤニッコイ脆  
行ケルト云フモノニシテ置イテ、若シ検査官ガ見テ是ハ危イ船ダ、ドウモ其

限ヲ定めシテナシ得ルヤウニ是ハ遞信省ノ訓令デモ何デモイケル譯ニアラウト思ヒマス、ト申スノハ獨リ此事ノミナラズ此遠洋航船ト云フ譬へバ世界中週ヲテ居ル船アリマシテモソレデモ太平洋ハ宜シイガ西洋ハイケナイト云アヤウナコトハ縱令遠洋航船ニモ定限ヲ附ケルコトガ出來ルノデアリマスカラ其例ニ微ヒマシテ帆船ハ沿海航船ヲ廢メテ近海航船ト區域ヲ廣ク致シテ置イテモ其船ノ模様ト現状ニ依ツテ検査官ガ特ニ制限ヲ設ケルト云フコトガ出來得ルト云フ考デ斯ノ如ク修正ヲ致シタノアリマス、ソレカラ第四條ヲ入レマシタノハ此第四條ハ即チ先程モ申シマシタ通現行法ニハ航行期間ガ六箇月十二箇月ト極メテアリマシタ、原案ニハマルデ航行期間ノ事ハ法律ニハ掲ゲヌデ其細則ニ讓ル積デアルヤウデゴザイマスガ、此航行期間ノ事ハ最重大ノ事アリマスカラ是ハ法律ニ於テ極メテ置カナケレバナラヌト云フスウ云フ證議デ茲ヘ入レマシタノデアリマス、擬此汽船ノ方ハ三箇月以上一箇年以内帆船ハ六箇月以上二箇年以内トスウ區別ヲ附ケマシタノハ汽船ト帆船機械ヲ毀シ易イト云フコトガアリマスルカラドウシテモ検査ヲ早クシナケレバナリマセヌ故ニ帆船ニ比スレバ航行期間ハ幾分カ短カクシナケレバナルマイト云フ考デ、ソレニ汽船ト帆船トスノ如ク區別ヲ附ケテ、現行法ノヤウニ六箇月十二箇月ト云フヤウニ窮屈ニ極メマセヌ所謂幅ヲ廣クシテ融通ノ附タヤウニシタ積デアリマス、ソレカラ次ニ原案ノ第八條、赤字ノ九條デゴザミマス、此但書ヲ削リマシタノハ是ハ何モ深イ意味ハナイノデアリマス、遞信大臣ノ再検査ヲ申請スルト云フコトニナリマシチ其遞信大臣ノ再検査ノ決定ニ對シテ不服ヲ申立テ又ハ裁判所ニ訴フルコトヲ得ズト云フコトハ誠ニ蛇足ナコトデアリマシテ、コンナコトヲ言ハヌデモ普通ノ司法裁判所ニ於テモ行政官ノシタモノヲ是ハイカヌト言ツテ受理シテ裁判スルト云フコトハ憲法政治ニ於テ爲スベキ事デハナイ、行政裁判所ハ有ルガは法律ニチャント極マタ事デナケレバ受理スル譯ハナイ、コンナコトヲ書イテ置クト法律ノ體裁持出シタ所ガ無論受理事デハナイ、コンナコトハ持出ス事デナイ、又ガ穢クナルカラ削ッタノデアリマス、原案ノ意味ヲ變ヘタノデハアリマセス、ソレカラ第十條、朱書ノ十一條、是ハ元ト原案ニハ「社員若クハ取締役」トアリマスガ之ヲ「社員取締役若ハ使用人」トシテ使用人ト云フ字ヲ入レマシタ、是ハ深イ意味ハナイノデアリマス、是ハ前條ノ罰則デアリマス、例ヘテ申セバ船舶ノ検査證書トカ云フモノヲ受クベキニ之ヲ受ケズニ船ヲ航行ノ用ニ供シタ者ヲ罰スルト云フ時ニ、サウ云フ検査證書モ無イ船ニ至テハ商事會社ダト誰ヲ罰スルカト云フ問題デアル、商事會社ニ於テ其所爲ヲ唯今申上ダタヤウニ検査證書無シデ船ヲ航行ノ用ニ供シタトキニハ業務擔當ノ社員、ソレカラ合名會社株式會社ノ取締役ガ罰セラレル譯デアリマス、然ルニ此取締役ト云フモノハ支店杯ニハ無イ、例ヘバ郵船會社ハ是ハ東京ニハ取締役ガ有ルガ上海ニ支店ガ有リ長崎ニ支店ガアル、其支店ニ居リ

マスル支店長ト云フ者ガ前ニ申シタ不都合ナ所爲ヲシタトキニヘ何ニモ知テナイ東京ノ本店ノ取締役ヲ罰スルコトニナル、然ラザレバ誰モ罰セラレヌセウナ結果ニナリマスカラ、サウ云フ場合ニ於テハ長崎ノ支店長が不正ノ所爲ヲ爲スト其長崎ノ支店長ヲ罰スルノデアル、ソレハ會社カラ言ヘバ使用人ニ相違ナイカラ、ソレデ使用人ト云フコトヲ入レテ原案ノ意味ヲ明ニシテ闕ヲ補ツタ積デアリマス、先ヅ船舶検査法ニ附キマシテハ右述ベマシタ通ノ修正デアリマス

○村田保君 少々委員長ニ質問ヲ致シテ置キタイ、此二條デゴザイマスガ唯今遠洋ト近海ト沿海等ノ區別ヲ略々述ベラレマシタガ近海ト云ヘバ日本ノ中ヲダルく回ル、日本國中ヲ回ルノガ近海デ、ソレカラ沿海航船ト云フノハ例ヘバ安房カラ何處マテ行クトカ或ハ神戸カラ馬關ニ行クトカ云フノガ沿海デアリマスガ是ニハ距離杯ノ定メハゴザンセヌガ其方ハ委員會ノ時分ニ御尋ニナリマシタカ、例ヘバ遠洋ト云フノハ何里カラ先キガ遠洋デアルカ或ハ近海ト云フノハ何里以内トカ沿海ハ何里以内トカ云フヤウナ區別ハナイノデアリマスカ、之ヲ先ツ一ツ伺ヒマス

○箕作麟祥君 唯今村田君カラ此遠洋航船、近海航船、沿海航船ニ附イテ里程ノ定メガアルカドウカト云フ御質問デアリマシタガ、是ハ本員ガ承知シテ居ル所デハ極メ方次第デアリマセウガ現行法ヲ初メトシテ此法律ノ施行細則ニ至ルマデモ里程デ定メルト云フ原案ノ主意デハナイヤウニ承テ居リマス、併ナガラ原案ノコトデアリマスカラ本員ヨリハ唯今政府委員ガ出テ居リマスカラ政府委員ノ方ガ尙本明瞭ト存ジマスニ依ツテ十分ナ事ハドウゾ政府委員ノ方ニ御質問ヲ願ヒマス

(村田保君「ソシナラ政府委員カラ御説明ヲ願ヒマス」ト述フ)

(政府委員佐藤秀顯君演壇ニ登ル)

○政府委員(佐藤秀顯君) 村田君ヘ御答ヲ致シマスガ里程ノ定メハナイノデマタ事デナケレバ受理シテ裁判シナイ、コンナコトヲ書イテ置クト法律ノ體裁持出シタ所ガ無論受理事デハナイ、又近海航船ハ舊ト内國航船ト申シマシタモノデ内國が穢クナルカラ削ッタノデアリマス、是ハ前條ノ罰則デアリマス、例ヘテ申セバ船舶ノ検査證書トカ云フモノヲ受クベキニ之ヲ受ケズニ船ヲ航行ノ用ニ供シタ者ヲ罰スルト云フ時ニ、サウ云フ検査證書モ無イ船ニ至テハ商事會社ダト誰ヲ罰スルカト云フ問題デアル、商事會社ニ於テ其所爲ヲ唯今申上ダタヤウニ検査證書無シデ船ヲ航行ノ用ニ供シタトキニハ業務擔當ノ社員、ソレカラ合名會社株式會社ノ取締役ガ罰セラレル譯デアリマス、然ルニ此取締役ト云フモノハ支店杯ニハ無イ、例ヘバ郵船會社ハ是ハ東京ニハ取締役ガ有ルガ上海ニ支店ガ有リ長崎ニ支店ガアル、其支店ニ居リ

全不完全ヲ検査スルノダラウト思ヒマス、ソレデ例ヘバ極近イ處ヲ航海スルモノデモ不完全デアレバ一町行クテモ二町行クテモ不完全ナモノデ生命財産ニ危険ガアル、サウ云フヤウナコトヲ検査スルノデゴザイマセウカ、船ノ完

全ヲ検査スルノカ或ハ距離ニ依クテ検査ヲスルト云フ主意デ沿海航船ハ検査シナイデモ宜イト云フ斯ウ云フ御趣意ヲ以テ斯ヤウニ修正ニナリマシタノデゴザイマスカ、ソレヲ伺ヒタイ

○箕作麟祥君 村田君ニ御答申スガ委員會ノ主意ハ帆船ト云フモノハ沿海航船ト云フ狄イ窮屈ナルモノニシナイ、原則トシテハ皆沿海航船ハ近海航船ト

云フ中ニ入レテ仕舞フ積アル、サウ云フ其沿海航船……丁度同ジコトデゴザイマスガ此平水航船ト云フモノデ有リマスト原案デモ矢張帆船ニハ關係シナイ、ソレト同ジコトデ沿海航船ト云フモノハマルデ帆船ニハ關係ハナ

イ、例ヘバ帆船デアル以上ハ原則トシテ皆近海航船ニ入レル、ソレカラ殊ニ此薄弱ナ危ナイト検査官ガ思タモノハ航路ヲ低減シテ例ヘバ近海航船デアルケレドモサウ日本中ヲ迴ハルコトハ出來ナイ、此航路ハ神戸カラ馬關ニ限ルトカ東京灣ノ中ニ限ルトカ云フヤウニスルノデ、詰リ其帆船ハ近海航船……

デヤアナイ沿海航船ト云フモノニマルデ關係ノナイ、斯ウ云フ主意デアツタノデ……

○村田保君 尚ホ御尋シマス、サウシテ見マスルト帆船ナラバ沿海航船ハドンナ不完全ナ船デモ宜イ、是ハ検査ヲ受ケヌコトダカラ、ドンナ不完全ナ船デモ検査ヲ受ケヌデモ沿海航船ガ出來ルト云フヤウニナルガ、ソレデ宜シ

○箕作麟祥君 ソレハ幾ラ申シテモ同ジデアリマスガ即チ帆船ハ沿海航船ト云フ方ニ極メマスト前ニ述ベマシタ通窮屈デ制限セラレタル航路ノ外ヘ出ラレヌト云フヤウニナル、即チ日本形船杯ハ殆ド業ヲ營ムコトガ出來ヌヤウニナルカラ帆船ト云フ以上ハ近海航路ニ入レルト云フコトヲ原則トスルサウ

云フ主意デアルカラ其上ハ御答ハ出來マセヌ  
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 他ニ御發議ガゴザイマセネバ第二讀會ニ移ルヤ否ノ決ヲ採リマス、第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス

○名村泰藏君 議事日程ヲ變更セラレマシテ直ニ二讀會ヲ開カレンコトヲ希

望致シマス  
○子爵小笠原壽長君 贊成  
○南郷茂光君 贊成  
○長谷川貞雄君 贊成  
○中島永元君 贊成

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 名村君ヨリ議事日程ヲ變更シテ直ニ第二讀會ヲ

開クト云フ動議が出マシタ贊成ガゴザイマス、名村君ノ動議ニ贊成ノ諸君ノタ、直ニ第二讀會ヲ開キマス、所ニ依クテハ條ヲ連ネテ問題ニ供シマス、朗讀ヲ致サセマス

起立者 多數

(有賀書記官朗讀)

第一條 船舶検査法

ヲ受クヘシ

一 海軍艦船艇

二 登簿噸數十五噸未滿若クハ積石數百五十石未滿ノ帆船

三 湖川其ノ他靜穩ノ海上ヲ航行スル帆船

四 機櫂ノミヲ以テ航行スル船舶

○田中芳男君 聊カナコトデゴザイマスガ「若クハ」ノ「ク」ノ字ガ消シテアリマスガ是ハ昨日決定シタ獸疫豫防法案杯ハ「ク」ガ載ッテ居リマスガ是ハ小サイコトデハゴザリマスガドウ云フ譯デゴザイマセウカ一寸御質問致シマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 假名文字ノ正誤杯ハ總テ事務局デ取扱フノデゴザイマスカラ一様ニナルヤウニ後デ整頓致ス咎デゴザリマス、第一條原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

(有賀書記官朗讀)

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、第二條

第二條 此法律ニ依リ検査ヲ受クヘキ船舶ハ左ノ四種トス

一 遠洋航船

二 近海航船

三 沿海航船

四 平水航船

(有賀書記官 「委員會ノ修正文ハ『船舶ハ』以下ヲ削除シ『汽船

ハ遠洋航船近海航船沿海航船平水航船ノ四種トシ帆船ハ遠洋航船近海航船ノ二種トス』ト修正ニナリマシタ」ト述フ)

○村田保君 本員ハ此二條ハ政府提出ノ原案ノ通ニ致シタトイ思フ、其政府ノ原案ガ極ク當然ナ事ト思フ一體此船舶検査法案ヲ出シマシタモノト云フモノハ畢竟不完全ナル船ヲ廢メテ追ニ完全ナル船ヲ造リタイト云フノデ此法案ト云フコトデアリマスカラ矢張此惡イ船ヲ造り出スニ違ヒナイ検査ヲ

受ケヌカラ……

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 演壇ニ御出ヲ願ヒマス

○村田保君 格別ノコトモナイカラ茲デ……是ダケデス、ソレ故詰リ原案ニ復シタトイ云フ考デス

○磯邊包義君 村田君ニ贊成

○武井守正君 村田君カラ原案ニ復活シタトイ云フ説ガ出マシタガ今ノ村田君ノ仰シャルノニハ沿海航船ヲ帆船ニ取テ仕舞フト無検査ノ船が出来ルト仰シャルガ決シテサウズハナオ……

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 演壇ニ御出ヲ請ヒマス

○武井守正君 僅カデゴザイマスカラ……沿海航船ト云フモノハ委員長モ言ハレマシタ通幅ガ誠ニ狹クテ窮屈デア、汽船ニハ適當スルガ帆船デハ商賣ガ出來ナクナリマスカラ沿海航船ハ許サヌト云フマデ、アツテ苟モ帆船トナクタ以上ハ湖川其他靜穩ノ海上ヲ航行スルモノヲ除ク外ハ總テ近海遠洋此二種ノ内ニシテ仕舞フノデアルノデアリマスカラシテ沿海航船ヲ動クモノハ検査ヲシナイト云フノデハ決シテナイト本員ハ認メル、故ニ無検査ノ船が出來テ不完全ノモノガ今日マデノヤウニアルト云フ譯デハ決シテナインデアリマスカラ本員ハ修正ヲ贊成致シマス

○村田保君 唯今……

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 村田君ハ既ニ御意見ヲ御述ベニナツタ

○子爵曾我祐準君 委員長ニ一寸御尋致シマスガ村田君ガ始終言ハレルノニハ此改正案ノ如クナラシメバ沿岸航海ノ帆船ハ検査ヲ受ケナイト云フヤウニ思ロマスガ、此修正案ハサウデナクテ此帆船ニハ沿岸航海ト云フ名目ガナクテ即チ沿海航船ト云フ名目ガナクテ沿海航船ヲスル船ハ近海航船ノ種類ノ中ニ這入ルヤウニ解釋シマスガ、一寸御尋申シマス○箕作麟祥君 全ク今武井君カラモ辯ゼラレマシタ通曾我子爵ノ御見解ノ通

○男爵小澤武雄君 此帆船ノ事ニ附イテ今段々質問應答ガアリマシタガ私モ尙ホ委員長ニ御尋ヲシタノデス、帆船ノ方ハ近海航船ノ中ニ這入ルカラ検査ヲシナインデハナイ、矢張其中ニ籠フテ居ルト云フ御答デアリマシタケレドモ此一條ノ中ニ遠洋航船ト沿海航船ト平水航船ト四種ガ分ツテアル、其次ニ持ツテ行ツテ遠洋航船近海航船ノ二種ト帆船ノ方デハ定メル云フト、ドウモ修正ヲシタ其人ハサウ云フ考カモ知レマセヌケレドモ此文章カラ讀ンダ時ニハドウモ沿海航船ノコトハ全ク除カレルヤウニ思ハレルンデスガ、ソコハ疑ハナイデアリマセウカ餘程大事ノコトデアルカラマ一應承ッテ置キタウゴザイマス

○箕作麟祥君 是ハ武井君カラモ詳ニ辯ゼラレタヤウニ思ツテ居リマスガ勿論近海帆船デ見レバ近海航船トシテ検査ヲ受ケルノハ當リ前デ、近海航船トシテ何處ヘモ行ケル筈デアリマス、所ガ或船ニ依ツテハ航路制限ヲ幾ラカ

帆船ニハマルデ適用ガナイ、其結果ト致シテ此船舶職員法案ト云フモ一ツノ案ニ表ガ出テ居リマス、其一號表ノ中ノ沿海航船ト云フ中ノ帆船ト云フ欄ハマルデ削ツテ仕舞ロマシタ、是デ大抵アノ表ヲ御覽下ス、タラ御分リニナルダラウカト思ヒマス

○村田保君 質問ヲ政府委員ニ致シタイ、此帆船ハ沿海航船ト云フモノハイノデアリマスカ今日ハ矢張帆船デモ沿海航船ヲシテ居ルノガ有ルダラウト思ヒマスガ實際ゴザイマセヌデセウカ、唯今委員長ノ御答デハ帆船ニハ沿海航船ハ無イト云フ御答デアリマスガ全クサウデゴザイマスカ、一應御尋致シタイ

(政府委員佐藤秀顯君演壇ニ登ル)

○政府委員(佐藤秀顯君) 村田君ヘ御答ヲ致シマス極ク少イノデゴザイマス、唯今マデハ固ヨリ西洋形ノ帆船バカリヲ検査シテ居リマスカラ日本形ニ制裁ノ及シダコトハナイデアリマスガ是カラハ沿海航船ニ限ラレルモノハ極ク少イ見込デゴザイマス、サウシテ序ナガラ一言致シマスガ此第二條デ検査ヲ受クベキ帆船ハ遠洋航船近海航船ノ二種トサレマシテモ第一條ノノヨリ四號迄ノモノ、外ハ検査ヲ受ケナケレバ検査ヲ受ケナケリヤナラヌノデアリマスカラ帆船モ登簿

頓數十五噸未滿若クハ積石數百五十石未滿ノ帆船デナケレバ検査ハ受ケナケレバナラヌノデアリマス、此一カラ四號マデヲ除クノ外ハ皆検査ヲ受ケナケレバナラヌモノデアツテ、帆船デアルナラバ其検査ヲ受ケマス船ハ遠洋航船

近海航船ノ二種ニ限ルト云フコトニ修正デナフタノデゴザイマス○田中芳男君 本員モ政府委員ニ一寸御尋シタウゴザイマスガ唯今委員長ノ御説デ平水航船ト云フモノハ此第一條ノ第三ニ掲ゲテアル所ノ「湖川其他靜穩ノ海上ヲ航行スル帆船」其モノト同シ譯デ航船デハナイガ湖川等ヲ歩クモノガ平水航船ト御辯明ガアリマシタガ然ルトキハ原案ノ方デアリマスルト帆船デモ第二條デハ検査ヲ受ケルモノニナシテ居リマシタ第一條第三トハ抵觸致スヤウニ元ナツテ居リマシタカラソレ故ニ斯ヤウニ御修正ニナツタヤウニ考ヘマスガ又帆船デ十五

頓以上百五十石以上ト云フ帆船ハ平水航海ニハナイ譯デゴザイマスカ、ソコヨーク承リタウゴザイマス

(政府委員佐藤秀顯君演壇ニ登ル)

○政府委員(佐藤秀顯君) 田中君ニ御答ヲ致シマス、湖川其他靜穩ノ海上ヲ航行スル帆船デアリマスレバ百五十石以上登簿頓數十五噸以上デアリマシテモ検査ハ受ケナイデ宜イコトニ第一條デナルコトデゴザイマス、ソレデ御分リニナリタデゴザイマセウ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 表決ニ付シマス、第二條委員ノ修正ヲ可トスル

諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 多數デゴザイマス  
第三條 (有賀書記官朗讀)

## 第三條

第三條 船舶ノ検査ハ船舶ヲ日本船舶トシテ初メテ航行ノ用ニ供スルトキ其ノ航行期間満了ノトキ及航行期間内特ニ必要アルトキ之ヲ行フ

○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 第三條原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、委員修正案ノ第四條ヲ朗讀致サセマス

## (有賀書記官朗讀)

## 第四條

船舶ノ航行期間ハ汽船ニ在テハ三箇月以上一箇年以内帆船ニ在テハ六箇月以上三箇年以内トス

○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 委員ノ修正ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、是カラハ原案ノ第四條ヨリ原案ノ第七條即チ委員修正ノ第五條ヨリ第八條マデヲ連ネテ問題ニ供シマス、朗讀ハ省略致シマス、是ハ假字ノ修正ト條ガ變ラタバカリデゴザイマスニ依テ矢張原案ニ就イテ決ヲ採ル積アゴザイマス

## (左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス以下)

第四條 登簿噸數十五噸以上若クハ積石數百五十石以上ノ船舶ノ検査ハ其ノ所在地ヲ管轄スル船舶司検所之ヲ行ヒ登簿噸數十五噸未満ノ汽船ノ検

査ハ其ノ仕出地ノ地方官廳之ヲ行フ

第五條 檢查官吏船舶ヲ検査シ遞信大臣ノ定ムル検査規程ニ適合スルモノト認ムルトキハ本船ノ航路定限、旅客定員、汽壓制限及航行期間ヲ定メ管

轄官廳ヨリ船舶検査證書ヲ交付スヘン

第六條 檢查ヲ受ケタル船舶ノ所有者又ハ船長ニ於テ船舶検査證書ノ受有

前ニ船舶ヲ航行ノ用ニ供セントストキハ検査官吏ハ其ノ請求ニ依リ假證書ヲ交付シテ之ヲ許可スルコトヲ得

第七條 檢査官吏ハ何時ニテモ船舶ニ臨視シ若シ特ニ検査ヲ爲スノ必要アリト認ムルトキハ其ノ航行ヲ停止スルコトヲ得

○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス  
起立者 多數

○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ハ原案第八即チ修正ノ第

九條ヲ問題ニ供シマス、是モ朗讀ハ省略致シマス

第八條 船舶ノ検査ニ對シ不服アル者ハ其ノ事由ヲ具シ遞信大臣ニ再検査ヲ申請スルコトヲ得但再検査ノ決定ニ對シテハ不服ヲ申立テ又ハ裁判所ニ訴フルコトヲ得ス

再検査ヲ申請シタル者ハ其ノ決定前船舶ノ原狀ヲ變更スルコトヲ得ス

(特別委員修正案)

## 第九條

船舶ノ検査ニ對シ不服アル者ハ其ノ事由ヲ具シ遞信大臣ニ再検査ヲ申請スルコトヲ得

再検査ヲ申請シタル者ハ其ノ決定前船舶ノ原狀ヲ變更スルコトヲ得ス

○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 第九條、委員ノ修正ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ハ原案第九條即チ修正ノ第十條、是ハ假名文字ノ修正ガゴザイマスケレドモ別ニ修正トハ見ナイ積アリマス、矢張原案ニ就イテ決ヲ採リマス

第九條 遞信大臣ノ特ニ定ムル場合ノ外船舶検査證書若クハ假證書ヲ受有セスシテ船舶ヲ航行ノ用ニ供シ又ハ船舶検査證書若クハ假證書ニ記載スル船舶ノ航路定限、航行期間ヲ超エテ航行シタル者ハ三十圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處ス

詐偽ノ所爲ヲ以テ船舶検査證書若クハ假證書ヲ受ケ又ハ汽壓制限ヲ超エテ航行シ又ハ検査官吏ノ臨視ヲ拒ミ又ハ航行停止ノ命ニ違背シ又ハ必要ナル屬具ノ整備ヲ爲サヌシテ船舶ヲ航行ノ用ニ供シタル者亦同シ船舶検査證書若クハ假證書ニ記載スル旅客定員ヲ超エテ旅客ヲ搭載シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 第十條、原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス  
起立者 多數

○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ハ原案ノ第十條即チ修正ノ第十一條ヲ問題ニ供シマス

第十條 前條ノ罪ヲ犯シタル者ニハ刑法ノ數罪俱發ノ例ヲ用ヰス

前條ノ罰則ハ商事會社ニ在テハ其ノ所爲ヲ爲シタル業務擔當ノ任アル社員取締役若ハ使用人ニ之ヲ適用ス

○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 委員ノ修正ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス  
起立者 多數

○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ハ原案ノ第十一條ヨリ第

十六條マデ即チ修正案ノ第十二條ヨリ第十七條マデ連ネテ問題ニ供シマス

第十一條 船舶ノ航路定限、航行期間、旅客定員及汽壓制限ニ關スル規程其ノ他此ノ法律ノ施行ニ必要ナル細則ハ遞信大臣之ヲ定ム

第十二條 此ノ法律ハ明治三十年七月一日ヨリ施行ス

第十三條 明治十七年第三十號布告西洋形船舶検査規則ハ此ノ法律施行ノ

日ヨリ廢止ス

第十四條 明治十七年第三十號布告西洋形船舶検査規則ニ依リ交付シタル

船舶検査證書ハ其ノ有效期間満了マテ效力ヲ有ス

第十五條 此ノ法律施行ノ際現存スル積石數百五十石以上ノ帆船ハ遞信大臣ノ定ムル順序ニ依リ漸次検査ヲ受クルマテ船舶検査證書ヲ受有セシ

テ航行ノ用ニ供スルコトヲ得

第十六條 此ノ法律ハ外國ノ船籍ニ屬スル船舶ヲ借入レ帝國各港ノ間又ハ

帝國ト外國トノ間ニ於テ航行ノ用ニ供スル者ニモ亦之ヲ適用ス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 多數

○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 多數デゴザイマス

○箕作麟祥君 唯今二讀會ニ當リマシテ格別修正モナカツタノデアリマスル

ガ議事日程ヲ變更シテ直ニ第三讀會ヲ開カレンコトヲ……

○南郷茂光君 贊成

○小原重哉君 贊成

○名村泰藏君 贊成

○子爵板倉勝達君 贊成

○子爵立花種恭君 贊成

○田中芳男君 贊成

○根岸武香君 贊成

○武井守正君 贊成

○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 議事日程ヲ變更シテ直ニ第三讀會ヲ開クト云フ

箕作君ノ動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、議事日程變更ニナリマシテ

直ニ第二讀會ヲ開キマス、朗讀ハ省略致シマス

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス)

第一條 日本船舶ハ左ニ記載スルモノヲ除ク外此ノ法律ノ規程ニ依リ検査ヲ受クヘン

一 海軍艦船艇

二 登籠噸數十五噸未滿若ハ積石數百五十石未滿ノ帆船

三 湖川其ノ他靜穩ノ海上ヲ航行スル帆船

四 機櫂ノミヲ以テ航行スル船舶

第二條 此ノ法律ニ依リ検査ヲ受クヘキ汽船ハ遠洋航船、近海航船、沿海航

船平水航船ノ四種トシ帆船ハ遠洋航船、近海航船ノ二種トス

第三條 船舶ノ検査ハ船舶ヲ日本船舶トシテ初メテ航行ノ用ニ供スルトキ

其ノ航行期間満了ノトキ及航行期間内特ニ必要アルトキ之ヲ行フ

第四條 船舶ノ航行期間ハ汽船ニ在テハ三箇月以上一箇年以内帆船ニ在テハ六箇月以上三箇年以内トス

第五條 登籠噸數十五噸以上若ハ積石數百五十石以上ノ船舶未滿ノ汽船ノ検査所在地ヲ管轄スル船舶司検所之ヲ行ヒ登籠噸數十五噸未滿ノ汽船ノ検査ハ其ノ仕出地ノ地方官廳之ヲ行フ

第六條 檢查官吏船舶ヲ検査シ遞信大臣ノ定ムル検査規程ニ適合スルモノト認ムルトキハ本船ノ航路定限、旅客定員、汽壓制限及航行期間ヲ定メ管轄官廳ヨリ船舶検査證書ヲ交付スヘシ

第七條 檢查ヲ受ケタル船舶ノ所有者又ハ船長ニ於テ船舶検査證書ノ受有前ニ船舶ヲ航行ノ用ニ供セントスルトキハ検査官吏ハ其ノ請求ニ依リ假證書ヲ交付シテ之ヲ許可スルコトヲ得

第八條 檢査官吏ハ何時ニテモ船舶ニ臨視シ若シ特ニ検査ヲ爲スノ必要アリト認ムルトキハ其ノ航行ヲ停止スルコトヲ得

第九條 船舶ノ検査ニ對シ不服アル者ハ其ノ事由ヲ具シ遞信大臣ニ再検査ヲ申請スルコトヲ得

再検査ヲ申請シタル者ハ其ノ決定前船舶ノ原狀ヲ變更スルコトヲ得ス

第十條 適信大臣ノ特ニ定ムル場合ノ外船舶検査證書若ハ假證書ヲ受有セシテ船舶ヲ航行ノ用ニ供シ又ハ船舶検査證書若ハ假證書ニ記載スル船舶ノ航路定限、航行期間ヲ超エテ航行シタル者ハ三十圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處ス

詐偽ノ所爲ヲ以テ船舶検査證書若ハ假證書ヲ受ケ又ハ汽壓制限ヲ超エテ航行シ又ハ検査官吏ノ監視ヲ拒ミ又ハ航行停止ノ命ニ違背シ又ハ必要ナル屬具ノ整備ヲ爲サヌシテ船舶ヲ航行ノ用ニ供シタル者亦同シ

船舶検査證書若ハ假證書ニ記載スル旅客定員ヲ超エテ旅客ヲ搭載シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十一條 前條ノ罪ヲ犯シタル者ニハ刑法ノ數罪俱發ノ例ヲ用ヰス

前條ノ罰則ハ商事會社ニ在テハ其ノ所爲ヲ爲シタル業務擔當ノ任アル社員取締役若ハ使用人ニ之ヲ適用ス

第十二條 船舶ノ航路定限、航行期間、旅客定員及汽壓制限ニ關スル規程其ノ他此ノ法律ノ施行ニ必要ナル細則ハ遞信大臣之ヲ定ム

第十三條 此ノ法律ハ明治三十年七月一日ヨリ施行ス

第十四條 明治十七年第三十號布告西洋形船舶検査規則ハ此ノ法律施行ノ

日ヨリ廢止ス

第十五條 明治十七年第三十號布告西洋形船舶検査規則ニ依リ交付シタル

船舶検査證書ハ其ノ有效期間満了マテ效力ヲ有ス

第十六條 此ノ法律施行ノ際現存スル積石數百五十石以上ノ帆船ハ遞信大

臣ノ定ムル順序ニ依リ漸次検査ヲ受クルマテ船舶検査證書ヲ受有セシ

テ航行ノ用ニ供スルコトヲ得

第十七條 此ノ法律ハ外國ノ船籍ニ屬スル船舶ヲ借入レ帝國各港ノ間又ハ

帝國ト外國トノ間ニ於テ航行ノ用ニ供スル者ニモ亦之ヲ適用ス

○田中芳男君 一寸政府委員ニ御尋致シタウゴザイマス、實ハ第二讀會ノ時

ニ御尋スルト宜ウゴザイマシタガ機ヲ失シマシタカラ唯今御尋シマスガ此間附

則ニゴザイマス「明治三十年七月一日ヨリ施行ス」トゴザイマスノハ此間カ

ラ承リマス所アハ間ノヤウナモノが出來テ生命財產ノ保護ニ甚ダ險呑

デアルカラシテ成ルタケ早ク施行セネバナラスト云フヤウニ承ツテ居リマス

ガ來年ノ七月一日マテ延ベシテ置イテモ宣シト云フ譯デゴザイマスカ、サ

ウ急ニハ著手ガ出來ヌ所カラ三十年七月一日ニナリマシタ譯デアリマスカ、

大分先キヘ寄リ過ギテ居ルヤウニ考ヘマスカラ其邊ヲ伺ヒマス

(政府委員佐藤秀顯君演壇ニ登ル)

○政府委員(佐藤秀顯君) 田中君ヘ御答致シマス、勿論取締ノタメニハ片時

モ急ガナケレバナラヌノデゴザイマスガ、多數ノ日本形船ハ前來申述ベマシ

タ通ニ、少シモ制裁ナクシテ今日マテ參ツタモノニアリマスカラ、謂ハマ日

本形船ノ營業者ニハ始メテノ法律デアリ、十分教ヘテカラシテ行ヒマセズバ

多少ノ迷惑モアラウト存ジマスカラシテ、相當ノ時日ヲ與ヘマシテソレカラ

施行スルノガ穩當デアラウト餘義ナク此期日ニ定メタ譯デアリマス、左様御

承知ヲ願ヒマス

○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 表決ニ付シマス、第二讀會ノ決議案、即チ原案

ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、本案ハ可決セラレマシテゴ  
ザイマス、一應休憩ヲ致シマス

午前十一時五十八分休憩

午後一時十五分開議

○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 出席議員が定足數ニ滿チマセニ依ツテ已ムヲ  
得メ本日ハ延會ヲ致シマス、明後日ノ議事日程ヲ御報告ニ及ビマス、書記官  
長ヲシテ朗讀致セマス

(中根書記官長朗讀)

午前十時開議

第一 公爵毛利元徳君請暇ノ件  
第二 船舶職員法案(政府提出)

第一讀會ノ續(特別委員)  
(長報告)

第三 船舶職員懲戒法案(政府提出)  
第四 鎮守府造船材料資金増加ニ關スル法  
第五 償金特別會計法案(政府提出衆議院送付)  
第六 復祿及復族祿ノ請願  
第七 電信線架設ノ請願  
第八 萬國博覽會開設ノ請願  
第九 古社寺保存ノ請願  
第十 信用組合法制定ノ請願  
第十一 信濃川改修ノ請願  
第十二 畜產保護獎勵ノ請願  
第十三 三島町ヨリ下田町ニ至ル道路國道ニ編入ノ請願  
第十四 阿武隈川阿賀川治水ノ請願  
第十五 羽越鐵道線線上ノ請願  
第十六 日光山社殿修繕ノ請願

第一讀會ノ續(特別委員)  
(長報告)

第一讀會ノ續(特別委員)  
(長報告)

貴族院議事速記録正誤

一五五	上	三四	デ切	出来	一五五	上	三五	リ三本デ切り	正
頁	段	行	誤	正	頁	段	行	誤	正